

第 60 期
事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



前田建設工業株式会社

目次

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
主な受注・完成工事	6
完成工事紹介(土木部門)	7
完成工事紹介(建築部門)	8
業績の推移(単体)	9
単体財務諸表の要旨	10
連結財務諸表の要旨	11
株式の状況	12
会社の概要	13
役員	14



ホームページアドレス

<http://www.maeda.co.jp/>

最新の企業情報を上記ホームページに掲載しております。

表紙：「オリゾンマーレ」(東京都)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成17年3月31日をもって、第60期を終了いたしましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、米国経済が力強さに欠けるなか、年央からは景気牽引役であった輸出の鈍化や在庫調整による生産の横ばいなどにより、一時期足踏み状態もみられましたが、合理化の進展による企業収益の改善を背景に雇用情勢は改善し、民間設備投資も増加傾向になるなど、景気は緩やかな回復基調にありました。

建設業界におきましては、店舗や工場などの非住宅建設投資の増加などにより、民間建設投資は全体として堅調に推移いたしました。一方、公共投資は、相次ぐ災害の復旧のため補正予算は組まれましたが、国、地方ともに悪化する財政事情を反映して引き続き低調で、建設投資全体では減少傾向が続くなど、厳しい受注環境にありました。

このような情勢のもと、当社は、平成16年度を初年度とする「第3次中期経営計画」に掲げた諸施策を着実に実行し、建築工事においては、国内最高階数の超高層集合住宅2棟(勝どき六丁目再開発工事)を受注するとともに、エンジニアリング力を活かし医療や研究施設分野においても実績を積み重ねてまいりました。また、土木工事では、これまでに培った技術と実績をもとに、海外において総合評価方式で世界最長の斜張橋建設工事を受注いたしました。

この結果、受注高につきましては、建築工事が前期比0.3%減の2,575億円余、土木工事は大型工事の受注が寄与

し前期比9.8%増の1,320億円余、受注高合計は前期比2.9%増の3,895億円余となりました。

なお、官民別比率は、官公庁工事33.1%、民間工事66.9%でございます。

売上高（完成工事高）につきましては、建築工事が前期比1.1%増の2,835億円余、土木工事が前期比11.7%減の1,346億円余、売上高合計は前期比3.4%減の4,181億円余となりました。これにより手持工事高（次期繰越高）は前期比4.3%減の6,301億円余となっております。

次に利益につきましては、選別受注、営業と施工部門との連携強化などにより、営業利益は75億円余、経常利益は79億円余となり、3カ年計画の初年度目標を達成いたしました。また、当期純利益につきましては、固定資産の減損会計の早期適用および厚生年金基金の代行部分返上益などにより、8億円余となりました。

今後の見通しにつきましては、原材料価格の上昇が不透明要因となりますが、所得・雇用環境の改善から個人消費にも明るい兆しがみられ、景気は底堅く推移するものと予想されます。

建設業界におきましては、非住宅建設投資の増加が民間建設投資全体に波及する力は弱く、公共投資も災害復旧関連の補正予算を除き、財政的制約から減少傾向が続くものと予測され、依然として厳しい状況が続くものと見込まれます。

このような状況のなかで当社は、「第3次中期経営計画」に基づき、役職員がベクトルを一つにして、価格競争力の向上、ソリューション機能の強化などの諸施策に取り組む

とともに、企業の社会的責任（CSR）を十分に認識し、コーポレート・ガバナンスの充実強化に努めてまいります。また、平成17年4月1日より全面施行の個人情報保護法に対しても、新たに「MAEDA個人情報保護方針」などを制定し、取り組んでまいります。これらの活動を通じて、顧客に信頼される企業として、「利益ある成長」を実現できる企業体質の確立を目指し、更なる社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



代表取締役社長 前田靖治

国内最高階数の超高層住宅2棟「THE TOKYO TOWERS」を受注

「THE TOKYO TOWERS」は、東京ベイエリアの中央区勝どき6丁目に位置する約29,700㎡超の広大な敷地面積に建設され、居住用としては国内最高階数の58階建ての規模を誇ります。

海側に建つのは“SEA TOWER”で、窓からは東京湾への視界が開け、レインボブリッジやお台場を見晴らすことができます。都心側に建つ“MID TOWER”からは築地や銀座をはじめとした東京都心への眺望が広がり、アーバン&リゾートの絶好のロケーションとなっております。

構造体は、制震性能を有する間柱の採用で地震エネルギーを効果的に吸収し、さらに従来の超高層住宅より高強度なコンクリートと鉄筋を組み合わせた粘り強い耐震フレーム架構などで優れた耐震性を実現しております。

当社は、超高層住宅を早期より手がけ、20年余りの実績を積んでまいりましたが、今回の建物は社史にも残る規模、高さの超高層RC住宅として位置付けられます。

本物件の施工を通して、今後の受注に繋げるためにも、当社の技術力に更なる磨きをかけ、顧客に満足される高品質の建物を提供することを目標に、工事を進めております。

〈工事概要〉

- 発注者／勝六再開発株
- 所在地／東京都中央区勝どき6丁目301の一部他（地番）
- 工期／平成16年12月18日～平成20年1月31日
- 敷地面積／29,718.37㎡
- 建築面積／20,596.57㎡
- 延床面積／382,805.79㎡
- 構造・規模／RC造、一部S造、地下2階、地上58階
- 建物高さ／192m
- 全体計画戸数／2,799戸



(完成予想図)



(完成予想図)

香港支店のあゆみ ～開設から40年をこえて～

1963年、香港において葵涌（クワイチュン）エリア開発計画工事を受注したことは、当社にとって海外進出への弾みとなる大きな出来事でありました。その後、香港出張所を開設し、地下鉄、橋、道路、空港など多くの社会基盤整備に関わることができ、当社の海外事業は香港とともに発展への道を歩んできました。今後、香港支店（1982年に改称）は40年をこえる歴史のなかで培った実績を携え、アジアにおける中核拠点として、更なる飛躍を期しております。

香港支店のあゆみ

1963	葵涌（クワイチュン）開発計画工事受注 （当社初の海外工事となる） 香港出張所開設	1994	香港地下鉄508工区（東涌（トンチョン）線）荔景（ライキン）駅工事受注 香港地下鉄511工区（東涌（トンチョン）線）青衣（チンイ）駅工事受注 青衣（チンイ）インターチェンジ工事受注	2001	キャッスルピーク道路改良工事受注 香港地下鉄521工区（觀塘（クントン）線）九龍塘（カオルントン）駅および旺角（モンコック）駅改装工事受注
1973	マカオ火力発電所工事受注	1995	香港地下鉄303工区（荃灣（チュンワン）線）荔景（ライキン）駅工事受注	2002	九廣鐵路東部支線落馬洲（ロクマーチャオ）高架橋建設工事受注 香港地下鉄580工区（東涌（トンチョン）線）陰澳（ヤムオー）駅工事受注 紅磡（ホンハム）シールド工事受注
1975	香港地下鉄202工区（觀塘（クントン）線）石硤尾（セッキップメイ）駅工事受注	1996	1996 紅磡（ホンハム）バイパス工事受注	2003	T3道路建設工事受注
1978	香港地下鉄303工区（荃灣（チュンワン）線）荔景（ライキン）駅工事受注	1999	1999 ハイラム道路改良工事受注 九廣鐵路西鐵高架橋工事201工区（錦田～天水圍）受注 九廣鐵路西鐵高架橋工事211工区（天水圍～屯門北）受注	2004	ストーンカッターズ斜張橋工事受注
1981	香港地下鉄404工区（港島（アイランド）線）灣仔（ワンチャイ）駅工事受注		2000		
1982	香港支店に改称				
1984	青衣北大橋（現、青荃（チンチュン）大橋）工事受注				
1986	中国広東原子力発電所（現、大亜灣原子力発電所）工事受注 中国福建省水口ダム工事受注				
1989	新界北西部下水道トンネル工事受注				
1990	新空港先行工事受注				
1991	西九龍埋立工事受注				
1992	事務所移転 汲水門（カプスイモン）大橋および馬灣（マーワン）高架橋工事受注				
1993	ブラックポイント火力発電所工事受注 西九龍高速道路北工区工事受注 中国深圳京廣中心ビル工事受注				



【汲水門（カプスイモン）大橋】
1997年完成し、優れた特色を有する橋梁に与えられる土木学会「田中賞」を受賞



ストーンカッターズ橋
【世界最長の斜張橋】 施工中



【葵涌（クワイチュン）開発計画】
1963年当社初の海外工事となった開発計画工事



【荔景（ライキン）駅】
1982年香港地下鉄303工区荃灣（チュンワン）線荔景駅完成
1998年香港地下鉄508工区東涌（トンチョン）線荔景駅完成

前田建設ファンタジー営業部

2003年2月から前田建設ホームページに掲載している『前田建設ファンタジー営業部』が書籍となって発売されました。

21世紀の建設業をリードする会社を目指し、一般的には不可能と思われる空想上の建造物を自由な発想で建設する「ファンタジー営業部」。その最初の作品は「マジンガーZ」の格納庫の建設です。実在する機械と技術を使った施工方法・工期・工費を分かりやすく紹介して、好評をいただいております。

「夢の実現が可能である」というスーパーポジティブな思考を、ぜひ書籍でお楽しみください。また、「マジンガーZ」に引き続き、2003年10月からは松本零士先生の代表作「銀河鉄道999」の銀河超特急999号が発車する高架橋の建設を連載しております。

前田建設工業(株)ホームページ「ファンタジー営業部」
<http://www.maeda.co.jp/fantasy/index.html>



当社施工“アジアハイウェイ”がプロジェクトXにて放映

去る2004年10月26日(火)「アジアハイウェイ ジャングルの死闘」と題したNHK総合テレビのドキュメンタリー番組「プロジェクトX 挑戦者たち」で当社の高速道路建設工事が放映されました。

本工事は、国連が決めた戦後最大の道路建設計画で日本からは初の挑戦でした。着工は1965年、タイ国開発省道路局発注の「ランバン-チェンマイハイウェイ」で全長約100kmのうち、当社は第2工区(約28km)の工事を担当しました。

摂氏50度を超える密林地帯のなか、厳しい自然環境と闘いながら、高品質の道路建設にかけたMAEDAの技術者たちが描かれました。



「千葉市消費生活センター・計量検査所複合施設PFI特定事業」 第1回日本PFI大賞を受賞

当社が設計・施工し、現在運営を行なっている「千葉市消費生活センター・計量検査所複合施設PFI特定事業」が、日本PFI協会主催の「第1回日本PFI大賞」に選定されました。また、9部門賞のうち「PFI維持管理・運営賞」と「PFIモニタリング賞」の各部門賞も受賞いたしました。

当PFI事業は、千葉市より賃借した市有地に建設された公共複合施設を整備・所有・維持管理し、30年後に譲渡するBOT (Build-Operate-Transfer) 方式で、2002年9月より運営しております。

これまでの当社の取り組みが、PFI法の基本方針である「低廉で高品質な公共サービス」の実現に大きく貢献したと高く評価されました。



主な受注・完成工事

●受注工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	勝六再開発(株)	勝どき六丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事	東京都
	JFE都市開発(株)・三菱地所(株)・野村不動産(株)	(仮称)横浜山の内開発C街区新築工事(施工)	神奈川県
	東芝健康保険組合	東芝林間病院新病棟新築工事	神奈川県
	三菱地所(株)	(仮称)名古屋錦二丁目計画	愛知県
	ヤマト運輸(株)	(仮称)西大阪主管支店(ベース)建替工事	兵庫県
土木	関東地方整備局	東京国際空港D滑走路建設外工事	東京都
	横須賀市	下町浄化センター水処理棟主体建設工事	神奈川県
	日本道路公団	第二東名高速道路岡部トンネル(その4)工事	静岡県
	日本原子力発電(株)	敦賀発電所3,4号機敷地造成他工事(敷地造成工区)	福井県
	香港特別行政区路政署	ストーンカッターズ斜張橋工事	中国

●完成工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	(学)東北学院	学校法人東北学院中学・高等学校新築移転工事	宮城県
	成田国際空港(株)	第1旅客ターミナルビル第5サテライト新築工事(建築)	千葉県
	(株)プロバスト	オリゾンマール新築工事	東京都
	セコムホームライフ(株)	グローリオタワー横浜元町新築工事	神奈川県
	金沢市	石川県金沢食肉流通センター建設工事	石川県
土木	東北地方整備局	胆沢ダム基礎掘削工事	岩手県
	北陸地方整備局	氷見第2トンネルその2工事	富山県
	中部地方整備局	平成14年度東海環状富加・関IC改良工事	岐阜県
	岡山県	三室川ダム本体建設工事	岡山県
	九廣鐵路公司	東部延長線タイワイ駅建設工事(TCC400工区)	中国

●当期の受注高・完成工事高及び次期繰越高

(単位：百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	計	当期完成工事高	次期繰越高
建築工事	295,571	257,550	553,122	283,537	269,584
土木工事	363,250	132,002	495,252	134,656	360,596
計	658,822	389,552	1,048,374	418,193	630,181

完成工事紹介（土木部門）



東部延長線タイワイ駅建設工事（TCC400工区）

当工事は、昨年12月に開業されたKCR（九廣鐵路）馬鞍山（マンオンシャン）線の始発駅となる既存の東部線タイワイ駅をターミナル駅とするための工事であり、2万5千㎡の新設駅の増設、既存駅舎のコンコース全面改装他工事からなっております。既存営業線への影響を考慮した工程管理に努めながら、多数の設計変更にも対応し、かつ工期を前倒して竣工させたことにより発注者および関係の方々より高い評価を受けました。



三室川ダム本体建設工事

当ダムは、岡山県発注の治水を主目的とした多目的ダムであります。施工にあたっては周辺の環境保全を念頭に置き、廃棄物の削減に努めました。堤高は74.5m、堤頂長231m、堤体積24万㎡の重力式コンクリートダムであります。



平成14年度東海環状 富加・関IC改良工事

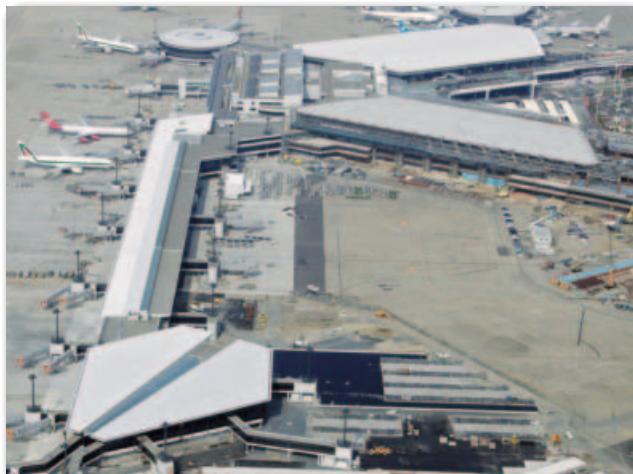
当工事は、東海環状自動車道の一部として、岐阜県中南部に位置する加茂郡富加町と関市の間の富加・関インターチェンジの掘削造成工事であります。また、本線と連絡するランプウェイの造成に伴い、擁壁、橋台、法面等の構築も行いました。

完成工事紹介（建築部門）



学校法人東北学院中学・高等学校新築移転工事

東北学院は仙台の地に110余年の歴史と伝統を持つキリスト教主義（プロテスタント）の学校であり、当工事はその新築移転工事です。中高一貫教育の場に相応しいよう、毎日の礼拝が行われる礼拝堂棟を中心に、教室・管理棟、体育館・部室棟を配置し、気品と風格を備え、機能的で明るく開放的な校舎となっております。



第1旅客ターミナルビル第5サテライト新築工事（建築）

当工事は、成田国際空港において、第1旅客ターミナルビルの老朽化と、年々の旅客機の増便に対応すべく行われた空港旅客取扱施設の大規模改修工事であります。国際空港にふさわしい特徴的な外観と旅行者がくつろげる空間を作り出しております。



グローリオタワー横浜元町新築工事

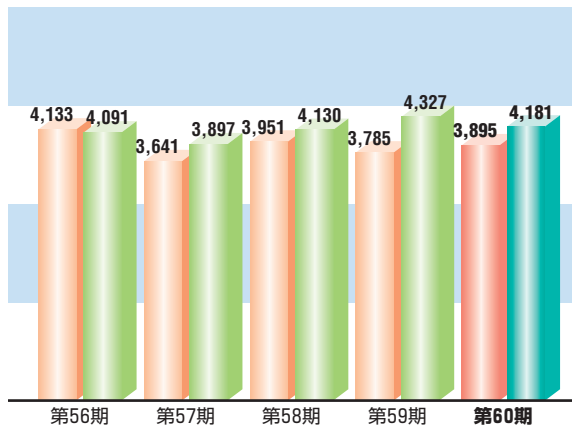
当建物は、「横浜の顔」といべき山下公園や横浜中華街に近接した横浜山下町に、当社の企画・設計にて建設されたRC構造の地上22階建て複合施設ビルであります。「みなとみらい21線」の始発駅である元町・中華街駅の直上に立地していることもあり、街区全体の環境とデザインに配慮いたしました。

業績の推移（単体）

●受注高・完成工事高

（単位：億円）

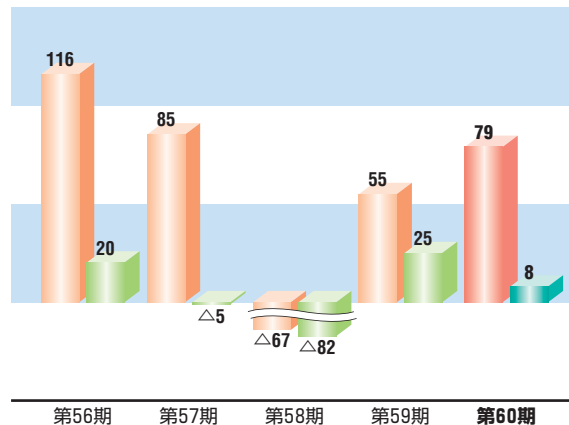
■ 受注高 ■ 完成工事高



●経常利益・当期純利益

（単位：億円）

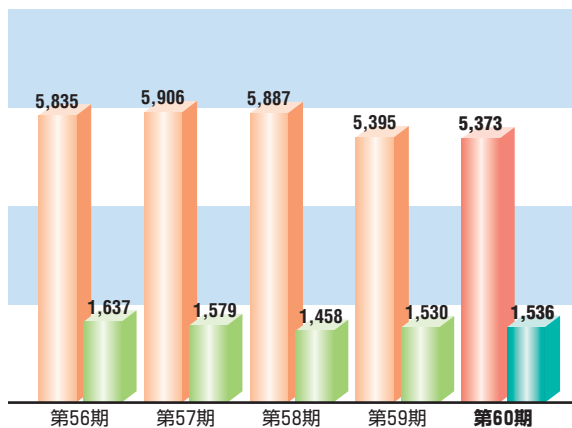
■ 経常利益 ■ 当期純利益



●総資産・純資産

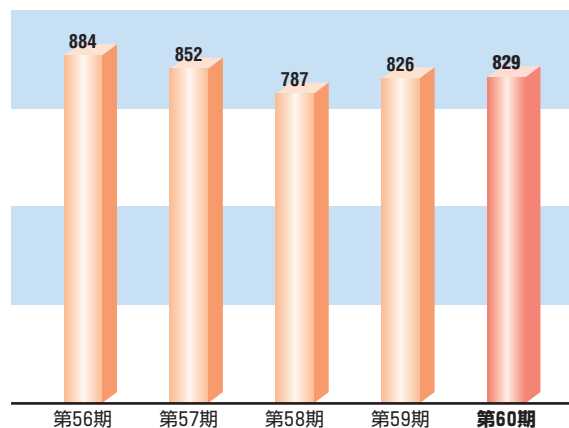
（単位：億円）

■ 総資産 ■ 純資産



●1株当たり純資産

（単位：円）



単体財務諸表の要旨

●貸借対照表

科目	(単位:百万円)	
	当期	前期
資産の部		
流動資産	387,676	392,857
現金預金	51,504	30,015
受取手形	19,250	30,852
完成工事未収入金	77,233	70,363
未成工事支出金	193,941	215,488
その他	45,746	46,136
固定資産	149,707	146,703
有形固定資産	58,414	66,003
建物・構築物	22,538	25,183
機械・運搬具	3,804	4,108
工具・器具備品	968	1,097
土地	30,953	35,523
建設仮勘定	149	91
無形固定資産	5,271	2,970
投資その他の資産	86,022	77,728
投資有価証券	70,597	66,348
その他	15,424	11,380
資産合計	537,383	539,560
負債の部		
流動負債	306,082	313,284
工事未払金	68,253	68,055
短期借入金	28,322	29,785
未払金	3,768	3,901
未成工事受入金	176,374	184,232
その他	29,363	27,308
固定負債	77,680	73,213
社債	49,000	34,000
長期借入金	1,000	8,000
退職給付引当金	24,570	28,034
その他	3,110	3,179
負債合計	383,763	386,497
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	82,208	83,073
その他有価証券評価差額金	16,403	14,972
自己株式	△26	△17
資本合計	153,620	153,063
負債・資本合計	537,383	539,560

(注)有形固定資産の減価償却累計額 516億円 520億円

●損益計算書

科目	(単位:百万円)	
	当期	前期
完成工事高	418,193	432,783
完成工事原価	388,694	403,343
販売費及び一般管理費	21,916	24,119
営業利益	7,581	5,320
営業外収益	2,424	2,159
営業外費用	2,014	1,916
経常利益	7,992	5,563
特別利益	5,365	2,598
特別損失	7,857	3,160
税引前当期純利益	5,500	5,000
法人税、住民税及び事業税	2,155	797
法人税等調整額	2,469	1,700
当期純利益	876	2,503
前期繰越利益	2,079	1,982
当期未処分利益	2,955	4,486

(注) 1. 1株当たりの当期純利益 4円49銭 13円12銭
 2. 特別利益の主なものとは厚生年金基金代行部分返上益4,543百万円です。
 3. 特別損失の主なものは減損損失6,492百万円です。

●利益処分

科目	(単位:百万円)	
	当期	前期
当期未処分利益	2,955	4,486
任意積立金取崩額	—	34
固定資産圧縮積立金取崩額	—	34
計	2,955	4,521
利益処分額	—	—
株主配当金(1株につき9円)	1,666	1,666
取締役賞与金	45	75
任意積立金	—	700
別途積立金	—	—
計	1,711	2,441
次期繰越利益	1,244	2,079

連結財務諸表の要旨

●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
資産の部		
流動資産	412,618	418,718
現金預金	59,789	32,487
受取手形・完成工事未収入金等	108,576	113,867
未成工事支出金	196,346	217,300
その他	47,905	55,061
固定資産	180,535	177,015
有形固定資産	73,937	81,310
建物・構築物	35,213	38,562
機械・運搬具・工具・器具備品	7,007	7,138
土地	31,551	35,393
建設仮勘定	164	216
無形固定資産	5,392	3,109
投資その他の資産	101,205	92,595
投資有価証券	82,760	79,073
その他	18,445	13,521
資産合計	593,154	595,733
負債の部		
流動負債	335,423	340,076
工事未払金等	77,754	78,061
短期借入金	48,983	49,896
未成工事受入金	177,074	185,102
その他	31,610	27,014
固定負債	84,160	82,496
社債	48,500	33,500
長期借入金	4,181	13,843
退職給付引当金	27,404	31,024
その他	4,074	4,129
負債合計	419,583	422,573
少数株主持分		
少数株主持分	3,021	3,199
少数株主持分合計	3,021	3,199
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	103,529	104,196
その他有価証券評価差額金	16,797	15,450
為替換算調整勘定	△53	△54
自己株式	△4,759	△4,665
資本合計	170,548	169,960
負債、少数株主持分及び資本合計	593,154	595,733

●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
売上高	463,774	484,318
売上原価	425,804	446,324
販売費及び一般管理費	28,672	30,526
営業利益	9,297	7,467
営業外収益	2,184	2,221
営業外費用	2,277	2,287
経常利益	9,203	7,401
特別利益	5,581	2,710
特別損失	9,361	3,899
税金等調整前当期純利益	5,423	6,213
法人税、住民税及び事業税	2,701	1,367
法人税等調整額	1,835	1,477
少数株主利益	△307	106
当期純利益	1,193	3,261

(注) 1. 特別利益の主なものとは厚生年金基金代行部分返上益4,664百万円です。
2. 特別損失の主なものとは減損損失7,993百万円です。

●キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,043	2,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,392	△6,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,686	△21,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△81
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	27,301	△26,193
現金及び現金同等物の期首残高	32,213	58,407
現金及び現金同等物の期末残高	59,515	32,213

●剰余金計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
(資本剰余金の部)		
資本準備金期首残高	31,579	31,579
資本準備金期末残高	31,579	31,579
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	104,196	102,263
利益剰余金増加高	1,193	3,261
利益剰余金減少高	1,860	1,329
利益剰余金期末残高	103,529	104,196

株式の状況 (平成17年3月31日現在)

●会社が発行する株式の総数 635,500,000株

●発行済株式総数 185,213,602株

●1単元の株式の数 1,000株

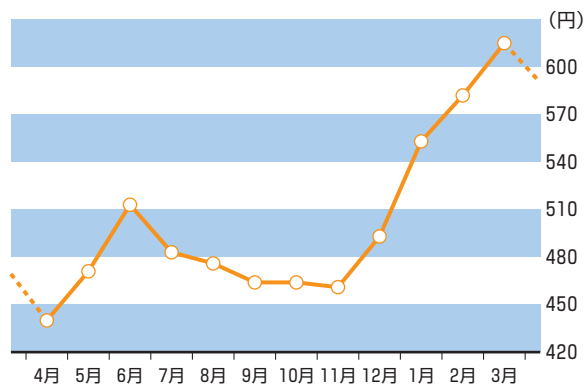
●株主数 9,768名

●大株主リスト

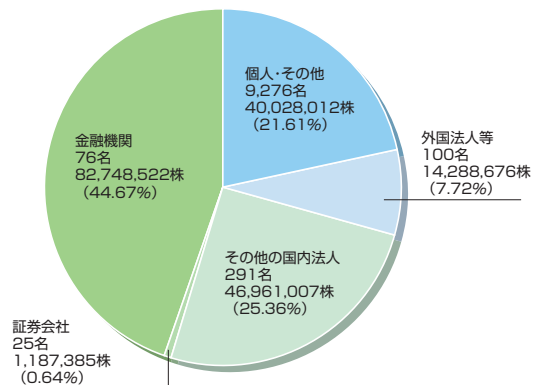
株主名	持株数	出資比率
光が丘興産株式会社	24,311千株	13.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,593	12.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,366	7.22
前田道路株式会社	6,750	3.64
前田建設工業社員持株会	6,344	3.43
株式会社みずほコーポレート銀行	5,459	2.95
株式会社三井住友銀行	4,150	2.24
株式会社損害保険ジャパン	3,410	1.84
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	3,212	1.73
明治安田生命保険相互会社	3,000	1.62

●株価(終値)の推移

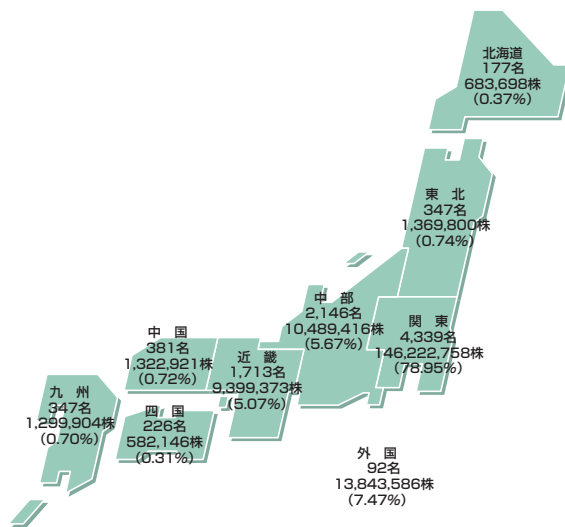
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)



●所有者別分布状況



●地域別分布状況



(注) 株証券保管振替機構名義の株式6,000株は所有者別分布状況では「個人・その他」に、地域別分布状況では「関東」にそれぞれ含まれております。

会社の概要

●創業

大正8(1919)年1月8日

●設立

昭和21(1946)年11月6日

●事業目的

1. 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
2. 建設及び運搬用機械器具各種鋼材製品の設計、製造、修理、販売並びにこれに関連する工事の請負
3. 不動産の売買、賃貸、仲介、管理及び鑑定その他

●資本金

23,454,968,254円 (平成17年3月31日現在)

●従業員

3,427名 (平成17年3月31日現在)
(注)平成17年3月31日付退職者を除いております。

●ホームページアドレス

<http://www.maeda.co.jp/>

●事業所

- 本 店** 東京都千代田区富士見2の10の26
〒102-8151 ☎ (03) 3265-5551
- 光が丘本社** 東京都練馬区高松5の8 J.CITY
〒179-8903
- 北海道支店** 札幌市中央区南11条西11の2の1
〒064-8552 ☎ (011) 551-6141
- 東北支店** 仙台市青葉区二日町4の11
〒980-0802 ☎ (022) 225-8862
- 関東支店** 東京都千代田区九段北4の3の1 (一口坂中央ビル)
〒102-8215 ☎ (03) 3222-0820
- 東関東支店** 千葉県中央区中央3の3の1 (フジモト第一生命ビル)
〒260-0013 ☎ (043) 227-3031
- 北関東支店** さいたま市大宮区大門町3の169の2 (セコム損保大宮ビル)
〒330-0846 ☎ (048) 649-1601
- 長野支店** 長野市篠ノ井御幣川1095
〒388-8006 ☎ (026) 292-0671
- 横浜支店** 横浜市神奈川区反町2の16の8
〒221-0825 ☎ (045) 313-7000
- 北陸支店** 富山市牛島町18の7 (アーバンプレイス)
〒930-0858 ☎ (076) 431-7531
- 福井支店** 福井市手寄1の16の14
〒910-0858 ☎ (0776) 24-2401
- 中部支店** 名古屋市中区栄5の25の25
〒460-0008 ☎ (052) 251-6251
- 関西支店** 大阪市中央区久太郎町2の5の30
〒541-8529 ☎ (06) 6243-2411
- 神戸支店** 神戸市中央区三宮町1の3の1 (神戸Fビルディング)
〒650-0021 ☎ (078) 321-3248
- 四国支店** 高松市寿町1の1の12 (東京生命館)
〒760-0023 ☎ (087) 851-6341
- 中国支店** 広島市中区鶴見町2の19 (ルーテル平和大通りビル)
〒730-0045 ☎ (082) 246-9181
- 九州支店** 福岡市博多区博多駅東2の14の1 (スフィンクスセンター)
〒812-0013 ☎ (092) 451-1541
- 香港支店** Room 1601-1605, New East Ocean Centre,
9 Science Museum Road, T. S. T East Kowloon, Hong Kong.
- 技術研究所** 東京都練馬区旭町1の39の16
〒179-8914 ☎ (03) 3977-2241
- 営業所** 全国38ヵ所
- 海外事業所** グアム出張所 (米国)
バンコック出張所 (タイ)
プノンペン出張所 (カンボジア)
台湾出張所 (台湾)
ロサンゼルス駐在員事務所 (米国)
ジャカルタ駐在員事務所 (インドネシア)
北京駐在員事務所 (中国)
上海駐在員事務所 (中国)
ハノイ駐在員事務所 (ベトナム)
ホーチミン駐在員事務所 (ベトナム)
ヤンゴン駐在員事務所 (ミャンマー)

役員 (平成17年6月29日現在)

取締役名誉会長	前田 又兵衛
取締役会長	布施 洋一
取締役副会長	峯本 守
代表取締役社長 執行役員社長	前田 靖治
代表取締役 執行役員副社長	上田 恵一郎
代表取締役 執行役員副社長	廣田 正
代表取締役 執行役員副社長	川嶋 信義
取締役 専務執行役員	友部 雄策
取締役 専務執行役員	工藤 和男
取締役 専務執行役員	前田 操治
取締役 専務執行役員	江尻 正義
取締役 常務執行役員	西川 博隆
取締役 執行役員	福田 幸二郎

監査役(常勤)	皆合 達夫
監査役(常勤)	加藤 敏夫
監査役(常勤)	上杉 慶次
監査役	城内 康光
監査役	桑田 勝利

専務執行役員	加藤 彰
常務執行役員	大和 稔
常務執行役員	富岡 康直
常務執行役員	藤森 泰明
常務執行役員	中島 治郎
常務執行役員	山田 和男
常務執行役員	大木 俊英
常務執行役員	長谷 康生
常務執行役員	永尾 眞
常務執行役員	横沢 和夫
常務執行役員	田口 神酒雄
執行役員	井上 隆三郎
執行役員	高橋 勉
執行役員	横田 浩
執行役員	劔地 弘隆
執行役員	川瀬 祥一郎
執行役員	赤島 正晃
執行役員	市川 泰彦
執行役員	新藤 周一
執行役員	竹内 利征
執行役員	小原 稔生
執行役員	加藤 正明
執行役員	橋本 茂男
執行役員	浅野 雅行
執行役員	小原 好一

(注) 監査役皆合達夫、城内康光および桑田勝利の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。



前田建設工業株式会社 Maeda Corporation

●株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日
なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 配当金 毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対してお支払いします。
5. 1単元の株式の数 1,000株
6. 名義書換代理人
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
7. 手数料 名義書換 無料
株券再発行 1枚につき262円（消費税含む）
8. 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ（<http://www.maeda.co.jp/>）に掲載しています。
9. 郵便物送付及び
電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
☎ 0120-288-324（フリーダイヤル）



この事業報告書は環境にやさしい
大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しております。